カミノトピックス

地域密着サービスで、ECO で経済的に・・・

今回、『北海道ガス株式会社』様をご紹介いたします。
平成 22 年７月より新しいサービス体制の『北ガスフレアスト東・千歳』開設について店長の目黒祐二様にお話を伺いました。
天然ガスを中心としたエネルギーと共に、住まいのメンテナンスからリフォームまで地域のお客様に快適な暮らしづくりをワンステップで対応できる地域密着型サービスができるようにと開設され、札幌市内ではフレアスト東・フレアスト西・フレアスト南・フレアスト北の４拠点があり、函館にも北・南、小樽、千歳で開設されており身近なサービス体制で展開しているとの事です。
日常生活ライフのでも環境性・経済性・快適性がキーポイントで生活するうえで重要な課題であると言う事は皆様もご理解していると思います。
最近では、環境性能・省エネ性能にすぐれたガス給油器『エコジョーズ』は排熱を再利用し給湯効率で約 95%の熱効率を実現し、地球温暖化の原因でもある CO2 の排出量を約 12%削減することが出来ます。又、一般家庭で天然ガスを燃料にして発電するコージェネレーションシステムの『エコウィル』など環境に配慮した商品郡がいろいろとあるとの事ですが、やはりどの業界でも取組むポイントは環境性能・省エネ性能が地球温暖化防止対策として CO2 削減と必要性が求められる事を再認識しました。
弊社もＥＣＯ商材のなかでも特にＬＥＤ照明のご提案を進めておりますが、ガス関連のことやリフォーム等でお困りの事、ご相談がありましたら『北ガスフレアスト千歳』様へお問合せしてみてはいかがでしょうか。
私も家庭内ではあまり身近に感じなかったのですが、今回取材したことにより大変参考になりました。大変ありがとうございました。　　（談：奥山）

千歳支店
千歳市清水町１丁目１番地
Kapass 店のちょうど真裏です

支店内のショールーム
ガス台は、安全性・経済的はもちろん、多機能です
お湯しか沸かせない私でも料理ができそうな気が・・・

環境に優しい物造りをしています

今回は PC(ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ)製品の製造で、自然の景観を大切にした美しい街づくりを目指している『山ーピーエスコンクリート株式会社』様をご紹介します。
会社設立は、昭和３２年に炭鉱で使用する PC 坑内矢木(ﾄﾝﾈﾙ坑内で土砂崩れを防ぐために使用する資材)の製造をするために、「山ー工業株式会社」を夕張市で設立されました。昭和３６年には千歳市青葉丘にも工場を設置し、その後、昭和４９年に現在の千歳市上長都(第３工業団地)に移転しました。本社機能は平成２年に札幌に移しています。
千歳工場の主力製品である PC 板について、宇佐美工場長にお話しを伺いました。
PC 板とは、プレストレストコンクリートで作られた板状の資材で、通常のコンクリートは圧縮力には強いが引っ張り力には弱いという特性がありますが、プレストレストコンクリートは PC 鋼材に引っ張り力を与えコンクリート部材に圧縮力がかかった状態(ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽ)にすることで、曲げ、耐力の増大、ひび割れ幅の制御を可能にし、万一過大な荷重が加わり一時的にひび割れが生じても、その荷重が無くなるとひび割れも閉じるそうです。主に矢板(土壁が崩れないように土留めに使用する板)として使用され、写真に有るように河川工事や道路の土留め用の資材として、鉄道、港湾等でも広く採用されています。従来工法のように、沢山のコンクリートを使用することなく、美しい出来上がりが可能で環境にも優しい工事が出来るそうです。
皆さんも街や河川などで、きっと山ーピーエスコンクリート様の製品を目にしていると思います。最近では、白石駅のプラットホームでも PC 板が使われています。
コンクリートという硬い資材を環境のことを考え、美しく、柔軟に対応できる製品へと変え、時代のニーズに合った物造りをしている環境にやさしい企業だと思いました。
（談：W.F・岡田）

勤続30年の宇佐美工場長と
出来上がった PC 板

私たちの生活の中で活躍しています
鉄道で　　河川で　　道路で

先生たちも日々勉強しています！

今回は、先日行われた北海道養護教員研究大会についてご紹介させていただきます。
「保健の先生」として子どもたちから慕われている養護教員のみなさんですが、複雑化する家庭問題や、学校を取り巻く環境、また近年では新型インフルエンザ、O－１５７やノロウィルスなどからいつも子どもたちをまもるために影では大変な努力をされていらっしゃいます。その活動の一つとして「第４１回　北海道養護教員研究大会」が７月２７日から二日間千歳市民文化センターとＡＮＡクラウンプラザホテルで開催されました。
事務局の千歳市立千歳小学校　養護教員　佐藤　郁枝先生にお話を伺ってきました。

Ｑ：この研究大会は毎年開催されているのですか？
Ａ：はい。年に一度全道各地で開催されており、昨年は札幌、来年は渡島が会場となります。
　　千歳での開催は１３年ぶりとなります。

Ｑ：どのような趣旨で行われているのですか？
Ａ：これまでの歩みを大切にしながら日頃の実践を通して研修を深め、学校保健の専門職としての資質向上を図るとともに、今、学校現場で起こっている課題に積極的に取り組み、学校保健の発展に寄与することを目的としています。

Ｑ：大変多くの参加者に驚いたのですが、何名くらいご参加されているのですか？ また、内容をお聞かせ下さい。
Ａ：今回は全道から７３９名の方にご参加をいただきました。
　　１日目は、東京大学の上野千鶴子大学院教授による特別講演と分科会担当者会議
　　２日目は、分科会、講座を行いました。
　　研究主題である「２１世紀を担う児童生徒の健やかな心身の発達を目指して－これからの養護教諭の職務はいかにあるべきか」のとおりかなり盛り沢山で、中身の濃い大会となりました。

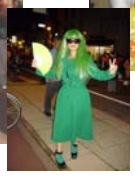
今年は我が国では東日本大震災があり、また、世界規模での経済や社会の変化は、子どもたちの生活環境や心に与える影響は大きく、困難な問題を抱えているこどもが増えています。養護教諭のみなさんは、未来を担うこどもたちがこれからの社会で生きていくうえで必要な力とは何か、それをどう育てていくかをいつも考えていらっしゃるそうです。「保健の先生」の優しさに触れて癒されるとともに何か自分にも出来ることはないか考えさせられた取材でした。
（談：SINKA・国府田）

千歳での開催は13年ぶりだそうです

会場にはテーマごとに先生方手づくりの展示パネルがずらり

700 名を越える参加者にどの会場も大盛況でした

当社の夏の恒例行事『千歳市納涼盆踊り大会』にメーカー・問屋さんのお手伝いをいただき参加しました。
今年は例年になく暑く、出発前より飲み物のはかのいくこと・・・。神野会長も７０代最後なので、とはりきって踊りに参加していただき、「特別賞」をいただきました。
３月の震災で多くの尊い命が奪われました。供養にと踊る盆踊り。決して大きな力ではありませんが、亡くなられた皆さんの供養になり、生きている私たちの明日への力になればと思った今年の盆踊りでした。
お疲れさん会はいつもの焼肉。踊っているとき「疲れた」とぼやいていたメンバーも元気ハツラツでした。


←うわさの“ガガ様”もどき・・・

当社の健康増進計画の第２弾・ウォーキング＆バーベキューを８月２７日（土）に開催しました。
当日は残暑厳しく、今回は千歳歩こう会の会員の方にアドバイスをいただき、『防災の森』スタート・ゴールの約７㎞を歩きました。コース途中の千歳川沿いでは、前日にゲリラ豪雨に見舞われましたが、川はきれいに澄んでいて泳ぐ魚も見えました。
何かにつけてバーベキューをしたい当社親睦会で、防災の森ではバーベキュー。当社の他にも家族・仲間でバーベキューを楽しいでいるグループがいました。
次は何にしようか担当チームは考えているようですが、本当に増進されたか、１０月より始まる健康診断で判定されます。どんな結果がでるのやら・・・。

2011年 8月 31日　VOL. 74
発行元：㈱カミノ
TEL：0123-23-4255　／　FAX：0123-24-1381
e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp

10月1日（土）は、決算棚卸しの為、お休みさせていただきます。ご了承いただきたくお願いいたします。
次期も皆様にご愛顧いただけるよう計画をたてているところです。
ご指導のほど、よろしくお願いいたします。